

## 社会経済思想 I 期末試験

**設題 I** マーク・シートの解答用紙を使用すること(【1】～【50】は問題の番号を、①～⑩は選択肢の数字を表している)。

以下の【1】～【30】はすべて「講義資料」のプリントからの抜粋だが、句読点や省略箇所などを若干変更したものもある。【1】～【15】についてはその著者(または発言者)名を【語群A】から、【16】～【30】についてはその出典の書名を【語群B】から選びなさい。また、文中の空欄部分に相応する原語(板書や口頭で補足した場合もある)を、【31】～【40】については【語群a】から、【41】～【50】については【語群b】から選びなさい。

- 【1】 《隠れて、生きよ。》
- 【2】 《ただ神のみが享受されるべきである。》
- 【3】 《 は自然を廃することなく劫ってこれを完成するものである。》
- 【4】 《万物は の交換物であり、 は万物の交換物である。》
- 【5】 《よく統治された社会では、人民の最下層にまで広く がゆきわたる……》
- 【6】 《われわれは、 とは祝福ある生の始め(動機)であり終わり(目的)である、と言うのである。》
- 【7】 《われわれは内在的価値の概念のいかなる形而上学的意味についても、もはや心を煩わさないことにしたい。》
- 【8】 《人間は、仲間の助けをほとんどいつも必要としている。だが、その助けを仲間の にのみ期待してみても無駄である。》
- 【9】 《有益性が と衝突するように見える事例は頻繁に生じるが、このとき注意すべきは、有益性と の衝突が明白か、それとも、それらの結合が可能か、という点である。》
- 【10】 《正しい交換がなされるには、何足かの靴と一軒の家もしくは一人の人の必要とする食料とが、大工もしくは農夫が と費用を靴工より余分に費やしていることに応じて交換されねばならない。》

- 【1 1】《競技会で見物する際に自分のために何も得ようとしていないのが最も自由な精神であるのと同じように、人生においては、事物の本性を【38】し、認識することが他のいかなる追求よりもまさっているのである。》
- 【1 2】《このようにして、二種の【39】が二つの国をつくったのであった。すなわち、この世の国をつくったのは神を侮るまでになった自己【39】であり、天の国をつくったのは自己を侮るまでになった神の【39】である。》
- 【1 3】《彼ら{スパルタ人}は自由であるとはいえ、いかなる点においても自由であると申すのではございません。彼らは【40】と申す主君を戴いておりまして、彼らがこれを恐れることは、殿の御家来が殿を怖れるところではないのでございます。》
- 【1 4】《明朗なギリシャ世界では、主観は国家や世界と強くつながり、国家や世界のうちに生きていたのですが、不幸な現実のなかにあっては、人間は自分のうちにひきこもり、世界のうちにはもはや見いだしえない統一を、自分のうちにさがしもとめねばなりません。》
- 【1 5】《アリストテレスの天才は、まさに、彼が諸商品の価値表現のうちの一つの同等性関係を発見しているということのうちに、光り輝いている。ただ、彼の生きていた社会の歴史的な限界が、ではこの同等性関係は「ほんとうは」なんであるのか、を彼が見つけだすことを妨げているだけである。》

[語群A]

- ①アウグスティヌス ②アキナス ③エピクロス  
 ④キケロー ⑤シュムペーター ⑥スミス ⑦ヘーゲル  
 ⑧ヘラクレイトス ⑨ヘロドトス ⑩マルクス

[語群a]

- ①Amor ②Benevolence ③Contemplatio ④Gratia  
 ⑤Hêdonê ⑥Honestas ⑦Labor ⑧Nomos ⑨Opulence  
 ⑩Pyr

- 【16】 《今の世はすなわち鉄の種族の代なのじゃ。》
- 【17】 《【41】 それ自ら或る種の円環であると考えられる。》
- 【18】 《このように、後にいる者が先になり、先にいる者が後になる。》
- 【19】 《【42】 は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。》
- 【20】 《まず何よりも、【43】 を構え女を一人と耕耘用の牛一頭を備えよ。》
- 【21】 《人間の知識では【44】 にはかなわぬ。……【44】 はおやみなく姿を変える。》
- 【22】 《一人で多くの仕事をする場合と、一人が一つの仕事だけをする場合とでは、どちらがうまくいくだろうか？》
- 【23】 《どのような術もどのような論究も、行為も選択もみな同じように、或るひとつの【45】 を目指していると考えられる。》
- 【24】 《お前は顔に汗を流してパンを得る、土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。》
- 【25】 《【46】 が天の国に入るのは難しい。重ねて言うが、【46】 が神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」》
- 【26】 《しかし、こうした原理の数や種類に関しては、必ずしもかれらのすべてが同じことを言っているわけではなくて、タレスは、あの【47】 の始祖であるが、「水」がそれであると言っている。》
- 【27】 《だれも、二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と【48】 とに仕えることはできない。》
- 【28】 《彼らのうちの誰も、万やむをえないものをのぞいて、私有財産というものを一切所有してはならないこと。……彼らはその魂の中に、神々から与えられた神的な金銀をつねにもっているのであるから、このうえ人間世界のそれをなんら必要としない……》
- 【29】 《ゼウスは、われわれ人間の種族がやがてすっかり滅亡してしまうのではないかと心配し、ヘルメスをつかわして、人間たちに

〈つつしみ〉と〈【49】〉をもたらすことにした。この二つのものが国家の秩序をととのえ、友愛の心を結集するための絆となるようにとのはからいである。》

- 【30】《従って憎んで最も当然なのは高利貸しである。それは彼の財が貨幣そのものから得られるのであって、貨幣がそのことのために作られた当のもの[交換の過程]から得られるのではないということによる、何故なら貨幣は交換のために作られたものであるが、【50】は貨幣を一層多くするものだからである。》

[語群B]

- ①『旧約聖書』 ②『形而上学』 ③『国家』 ④『仕事と日』  
⑤『自然学』 ⑥『神曲』 ⑦『新約聖書』 ⑧『政治学』  
⑨『ニコマコス倫理学』 ⑩『プロタゴラス』

[語群b]

- ①Agathon ②Dikê ③Dives ④Fortuna ⑤Kronos  
⑥Mammona ⑦Oikos ⑧Pauperes ⑨Philosophia ⑩Tokos

**設題Ⅱ** 論述用の答案用紙を使用すること。弁解や嘆願は「不可」、白紙答案(学籍番号・氏名等は必ず記入)は「欠席」とする。

ヘレニズムとヘブライズムの社会経済思想、あるいはその根底にある世界観や人間観は、どのような点で最も際立った対照的な性格を示しているか？具体的に様々な例を挙げて、できるだけ詳しく論じなさい。

\* 本文の前に論旨をアピールするようなタイトルを付けること。  
また、本文中のキーワードは下線で強調すること。図解にしてもよい。

\*\* **設題Ⅰ** で出題された文章を使う場合は、必ずその背景や意義を説明すること(ただ書き写すだけでは無効)。今回は出題されなかった文章はもちろん、担当者が講義で取りあげたり、あなたが関連して繙いたりした、他の一次資料(思想家の著作)や二次文献(研究書)にもなるべく多く言及することが望ましい。

- 【60】《怒りを歌え、女神よ……》
- 【61】《同じ川に二度入ることはできない》
- 【62】《【31】は、あらゆる富のうちの最大のものである。》
- 【63】《万物は【33】の交換物であり、【33】は万物の交換物である。》
- 【64】《これまでだとて、御身に等しい褒美を貰った覚えは一度もない……》
- 【65】《【35】と合致して生きることが目的であり、それは、徳によって生きることにはかならぬ……》
- 【66】《一人で多くの仕事をする場合と、一人が一つの仕事だけをする場合とでは、どちらがうまくいだろうか？》
- 【67】《市のなかの隔てはすべて取りこわして全体を一つの住居にしまい、お互いに行き来のできるようにしましょう。》
- 【68】《最善の国制とは、いま述べた三種の形態それぞれの特徴を組み合わせた国制だと見なすべきことは明白だからである。》
- 【69】《われらの政体は他国の制度を追従するものではない。ひとの理想を追うのではなく、ひとをしてわが範を習わしめるものである。その名は、少数者の独占を排し多数者の公平を守ることを旨として、【38】と呼ばれる。》
- 【70】《……そのうちに末端をもつところのものはいかなるものも永続するものではないこと、そして、長い世紀の間隔はすべて、限界をもたない永遠に比べれば取るにたりない小さいものと見られるどころか、かえって無と見られねばならぬ……》